U&R Portal 紹介・説明スライド

RAVIE'S Regi

電波が切れても止まらないお店のレジ

事業者用 ｜ しごと・事業



PN2026-15 ｜ 2026 年 10 月 16 日 ｜ v1.1 ・事業者用

U&R GROUP ソフトウェア開発・運用事業部 RAVIES

事業者用

この資料について

RAVIE'S Regi を導入・管理する事業者の方（事業者・店長・経理）向けの資料です。

- RAVIE'S Regi を毎日使う方向けの説明は「利用者用」にまとめています。
- 公式サイトの RAVIE'S のページと、U&R Portal の「使い方の資料」から開けます。
- 画面写真は、説明のために見本のデータを入れて撮影したものです。利用シーンの写真は AI で作ったイメージです。



RAVIE'S Regi とは

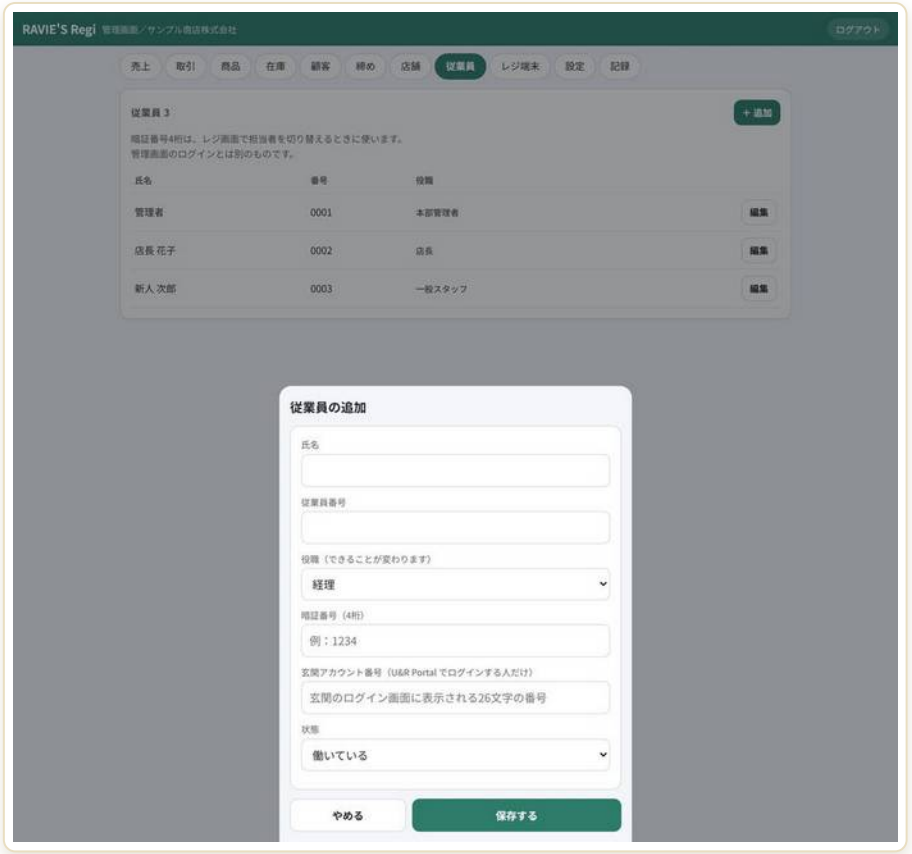
電波が切れても止まらないお店のレジ

移動販売やイベント出店から、いくつもの店舗を持つお店まで使えるレジです。パソコン・タブレット・スマートフォンのブラウザでレジになり、電波が切れてもお会計を続けられます。お店のオーナーは管理画面で売上・商品・在庫・お客様・従業員をまとめて管理でき、他の会社にも提供できる作りになっています。



ここがポイント

1. 取引は消さない・書き換えない。訂正は「取消の伝票」を新しく積む形（電子帳簿保存法のため）
2. 会社ごとにデータが完全に分かれ、運営者も契約先の売上やお客様の情報は見られない
3. 役職ごとに権限を分け、値引や返品は権限のある人の暗証番号で承認する。承認した人も記録に残る
4. ログイン（失敗も）・会計・返品・設定変更などを消せない記録として残す
5. URL の末尾に ?demo=1 を付けると見本のデータだけで動き、商談で触ってもらえる



従業員の追加画面。暗証番号は 4 桁の数字です。

使う人と、できること

事

事業者（お店のオーナー・本部）

管理画面のすべて：売上の集計、取引の検索、商品と在庫、お客様とツケ、レジ締めの記録、店舗、従業員と権限、レジ端末、インボイスと消費税の設定、操作の記録

店

店長

会計・返品・値引・商品・在庫・売上・締め・顧客

経

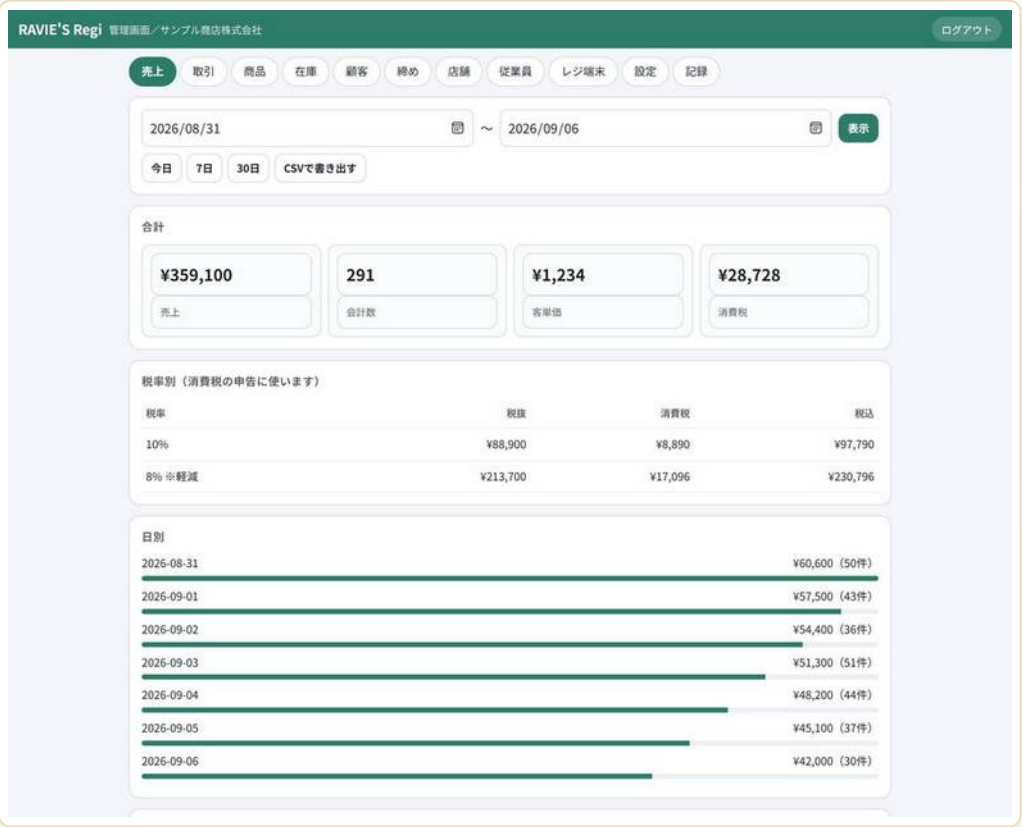
経理

売上を見ることだけ（商品・従業員・設定は変えられない）



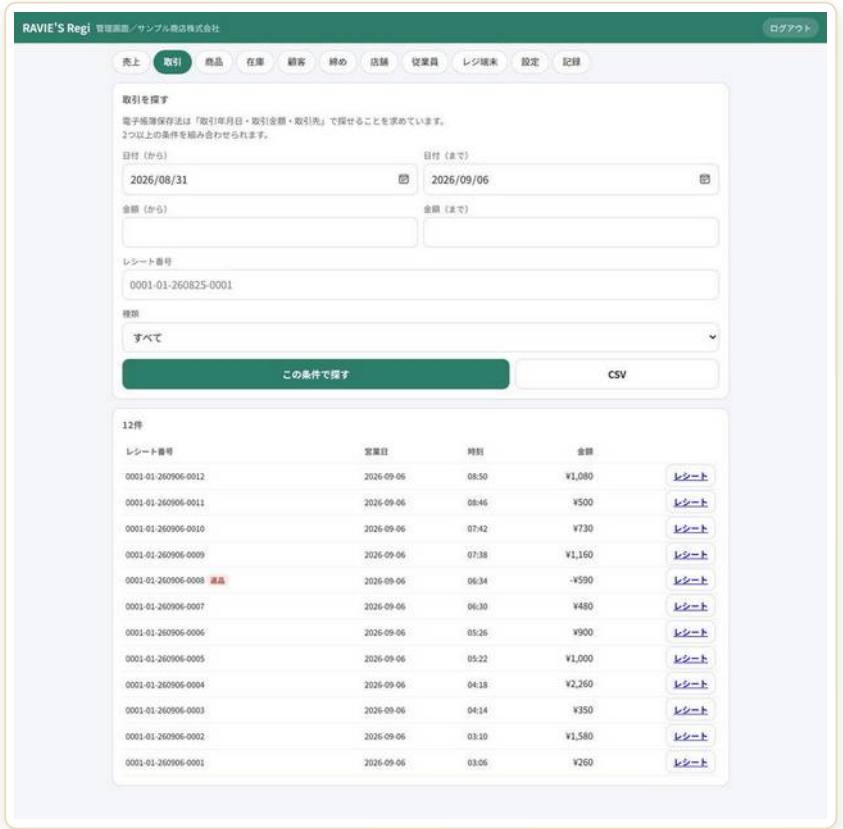
使う人ごとの画面

事業者（お店のオーナー・本部）



管理画面の「売上」。店舗が 2 つ以上あるときは、タブの下に店舗の選び場所が出ます。

店長



日付・金額の範囲・レシート番号・取引先・区分で絞り込めます。

主な機能

1. ブラウザでレジになる（パソコン・タブレット・スマートフォン）。ホーム画面に追加するとアプリのように開ける
2. 電波がなくても会計・レシート・返品・保留・レジ締め前の操作が続けられ、電波が戻ると自動で送られる
3. 商品のタイルを押すかバーコードを読ませるだけでカートに入る。よみがなでも商品を探せる
4. 現金・ QR ・カード・電子マネー、商品券＋現金などの分けた支払い、常連のお客様へのツケ（上限つき）
5. 紙のレシート、 QR コードの電子レシート（ 90 日間見られる）、宛名と但し書きつきの領収書



商品の追加画面。バーコードを入れておくと、レジでバーコードリーダーが使えます。

主な機能（つづき）

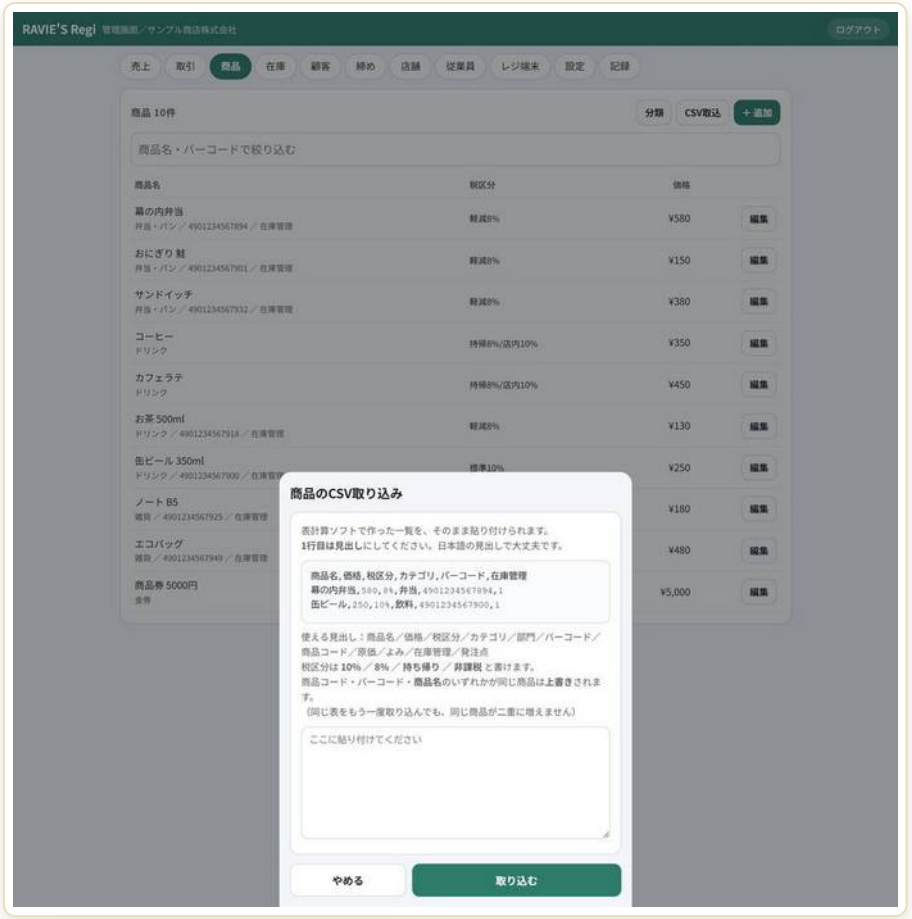
6 返品（他のレジで売ったものもレシート番号で探して返品できる）、会計の保留と呼び戻し

7 入金・出金の記録、営業中の点検、一日の終わりのレジ締め（全レジぶんから計算し直して差額を出す）

8 管理画面：日別・税率別・支払方法別・商品別・部門別・時間帯別の売上集計

9 商品の CSV まとめ取り込み、在庫の入荷・廃棄・調整、棚卸、店舗間の在庫移動

10 インボイス（適格請求書）の登録番号と消費税の端数処理に対応



取り込みの画面。1行目が見出しです。

操作説明

事業者用

事業者用 の操作を、画面の写真といっしょに順に説明します。



1 第１章　はじめに

2 第２章　最初にすること

3 第３章　毎日つかう

4 第４章　商品と在庫

5 第５章　顧客と掛売（ツケ）

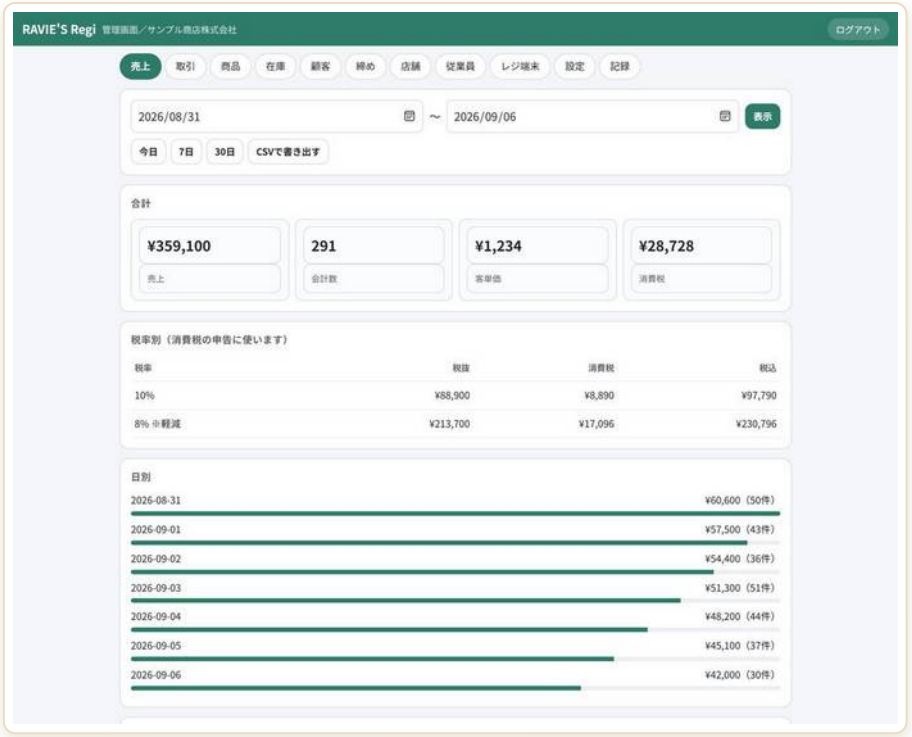
6 第６章　従業員と権限

7 第７章　レジ端末の管理

8 第８章　記録と、データの守り方

第１章　はじめに

管理画面でできることと、入り方です。



管理画面の「売上」。店舗が２つ以上あるときは、タブの下に店舗の選び場所が出ます。

管理画面でできること

お店の「決めごと」と「見たい数字」は、すべてここにあります。



管理画面でできること（つづき）

タブ	できること
売上	日別・税率別・支払方法別・商品別・部門別・時間帯別の集計
取引	1件ずつの会計を、日付・金額・レシート番号などで探す
商品	商品の追加・変更、部門とカテゴリ、 CSV でのまとめ取り込み
在庫	入荷・廃棄・調整、棚卸、店舗間の移動
顧客	お客様の登録、掛売（ツケ）の記録と入金
締め	各レジのレジ締めの記録と差額
店舗	店舗の追加・変更（レシートの文言・営業日の区切りなど）
従業員	従業員の追加・変更、役職と権限、暗証番号
レジ端末	レジ端末の追加、合言葉の発行・作り直し、停止
設定	インボイス登録番号・価格の入力方法・消費税の端数処理
記録	誰がいつ何をしたかの記録

管理画面に入る

レジ画面とは別の URL です。ログインは U&R Portal （玄関）で行います。

どこにある？： https://uandr-group.com/ravies-regi/ 管理者



1. **URL を開く**
   レジ画面の「設定」→「管理画面をひらく」からも行けます。そのまま玄関（ U&R Portal ）のログイン画面へ送られます。

2. **玄関で、 U&R アカウントのメールアドレスとパスワードを入れる**
   グループ共通の ID です。すでに玄関にログインしていれば、この画面は出ません。

3. **そのまま管理画面が開く**
   画面の上に玄関の共通の帯が出ます。ここから他のシステムへも移れます。

管理画面に入る（つづき）

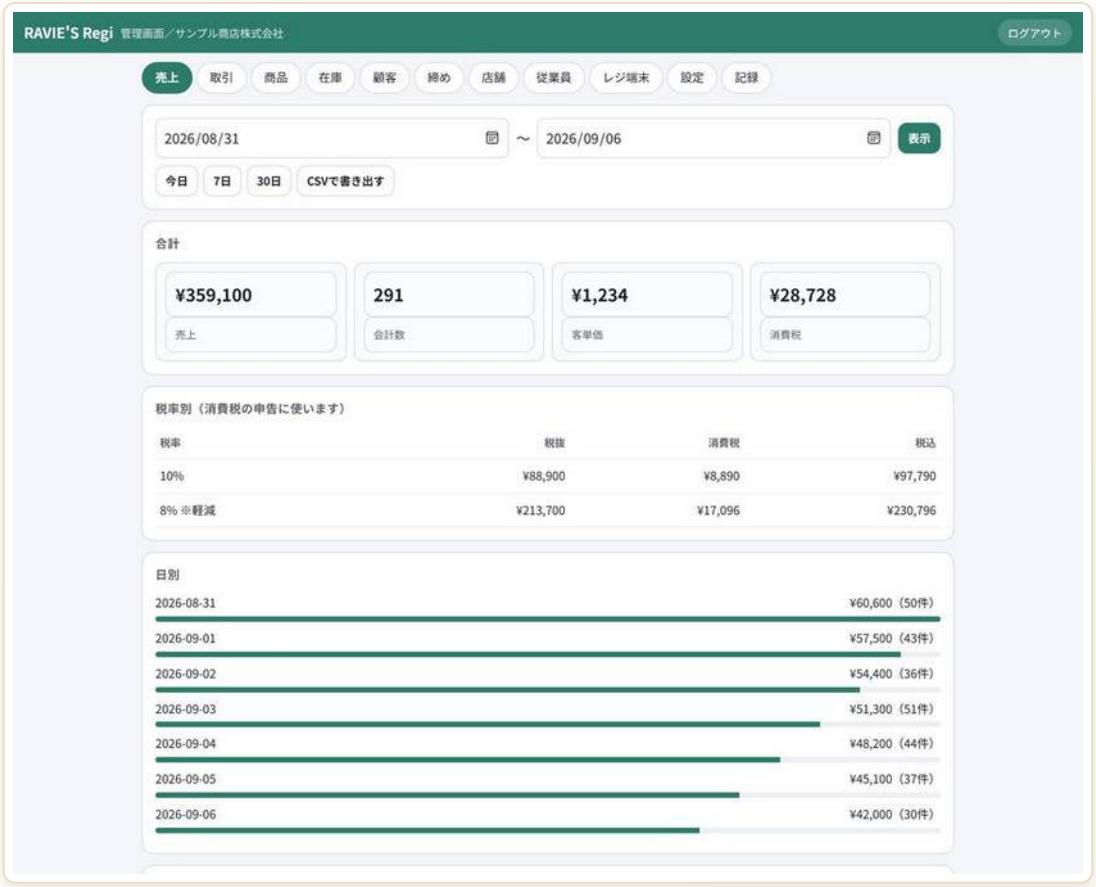
「まだ会社に紐づいていません」と出たときは、画面に表示されたあなたの番号をお店の管理者に伝え、「従業員」に登録してもらってください。

5回続けて間違えると、15分だけ受け付けなくなります。 これは、機械で片っ端からパスワードを試す攻撃を止めるためです。ログアウトは右上の「ログアウト」から。玄関へ戻ります。



画面の見かた

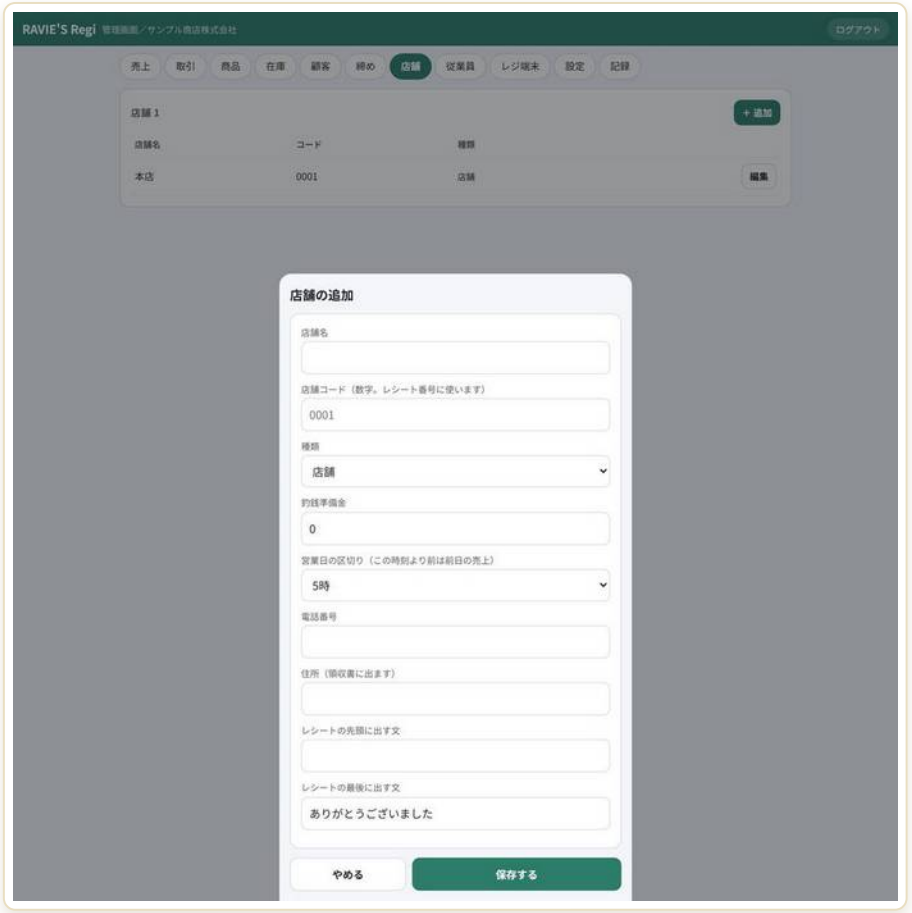
上のタブを押すと、内容が入れ替わります。



管理画面の「売上」。店舗が 2 つ以上あるときは、タブの下に店舗の選び場所が出ます。

第 2 章　最初にすること

この順番に設定すると、迷わず開店できます。



店舗の追加・変更の画面。

① インボイスと消費税を決める

いちばん先に決めてください。あとから変えると、その日の会計が止まります。

どこにある？「設定」タブ

1. **レシートに出す事業者名を入れる**
   登記した会社名など、お客様に見せる名前です。

2. **適格請求書発行事業者の登録番号を入れる**
   T のあとに 13 桁の数字です。お持ちでなければ空欄のままにしてください。

3. **商品価格の入力方法を選ぶ**
   商品の値段を税込で入れるか、税抜で入れるかです。



「設定」タブ。ここで決めた内容が、レシートの印字と消費税の計算に使われます。

① インボイスと消費税を決める（つづき）

4 **消費税の端数処理を選ぶ**
切り捨て・切り上げ・四捨五入。選び方は税理士にご確認ください。

5 **「保存する」を押す**
保存したら、稼働中のレジをすべて開き直してください。

! 営業中には変えないでください。 レジ端末とサーバーの計算が食い違い、その日の会計が保存できなくなります。開店前か閉店後に行ってください。



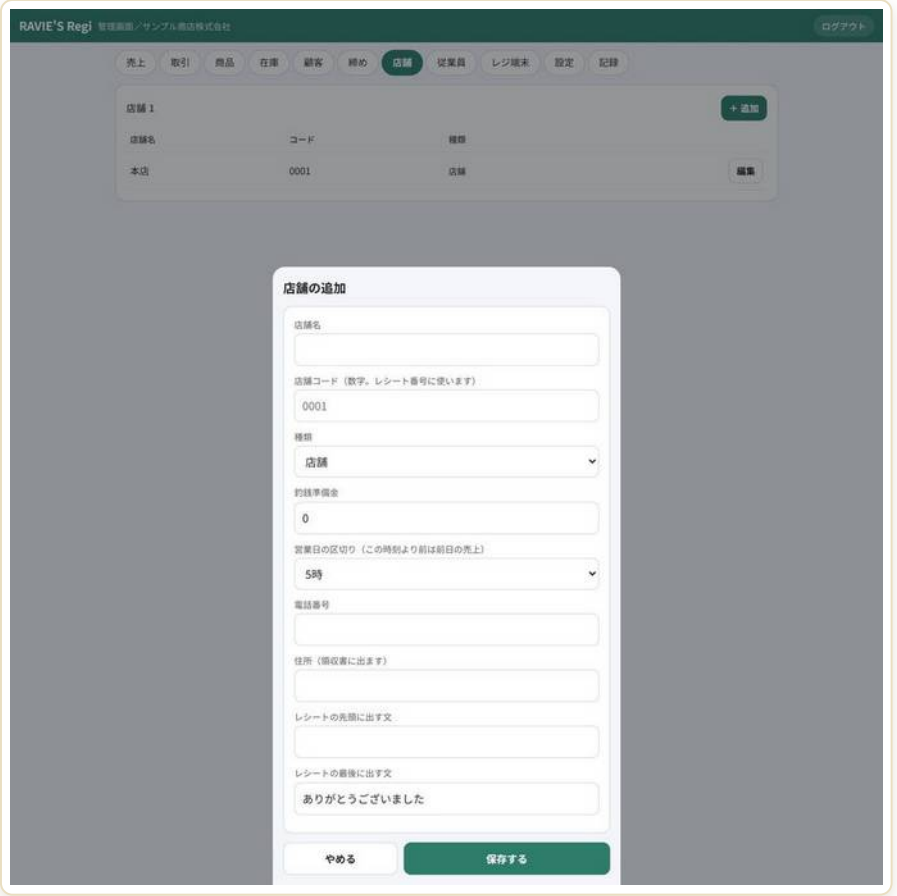
「設定」タブ。ここで決めた内容が、レシートの印字と消費税の計算に使われます。

② 店舗を確かめる

レシートの文言と、営業日の区切りをここで決めます。

どこにある？「店舗」タブ

1. **店舗名と店舗コードを確かめる**
   店舗コードは数字です。レシート番号に使われます。
2. **店舗の種類を選ぶ**
   店舗／無店舗（移動販売）／イベント出店。
3. **営業日の区切りを決める**
   この時刻より前の会計は、前日の売上として集計されます。既定は午前 5 時です。深夜営業のお店で効いてきます。
4. **釣銭準備金を入れる**
   レジ締めの理論現金の計算に使います。
5. **レシートの上下の文言を入れる**
   「ありがとうございました」などです。



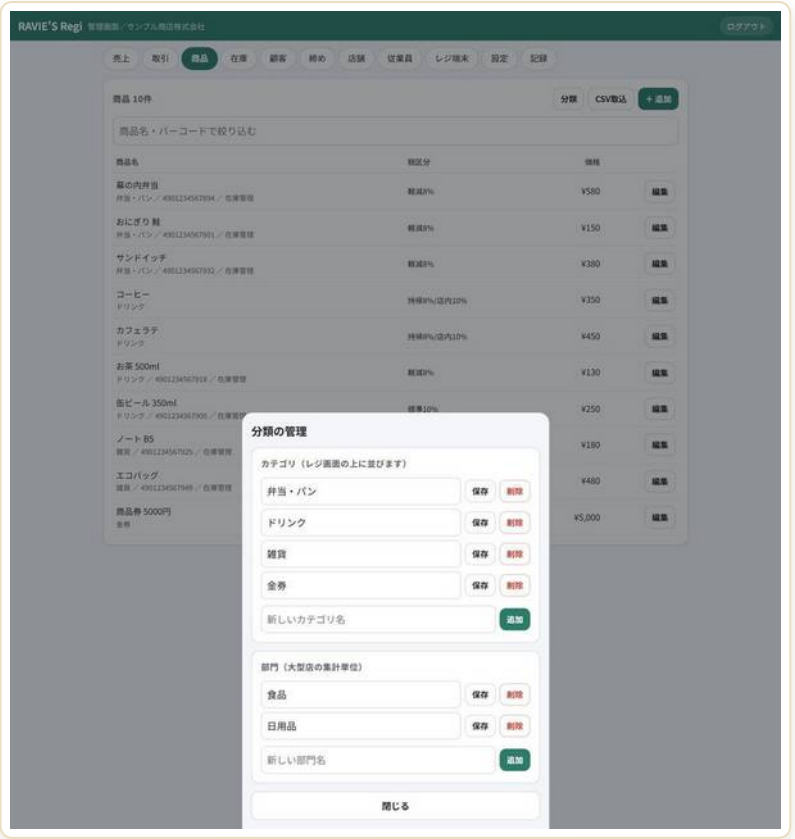
店舗の追加・変更の画面。

③ 部門とカテゴリを作る

商品の分類です。売上の集計の切り口になります。

どこにある？ 「商品」タブ →「分類」

> i 商品を取り込むときに自動で作られるので、先に作らなくても大丈夫です。
> あとから整えられます。



部門とカテゴリの編集。部門は大きな区分（食品・日用品など）、カテゴリは棚の単位（弁当・パン、ドリンクなど）です。

④ 商品を登録する

1 件ずつ入れる方法と、まとめて取り込む方法があります。

商品が 10 件ほどなら 1 件ずつ、それ以上あるなら表計算ソフトからまとめて取り込むのが早いです。



⑤ 従業員を登録する

レジ画面で担当者を選べるようになります。

どこにある？「従業員」タブ

⑥ レジ端末を登録する

最後です。ここで出る合言葉を、レジにする端末に入れます。

どこにある？「レジ端末」タブ

第 3 章　毎日つかう

売上を見る、取引を探す、締めを確かめる。



理論現金・数えた現金・差額・差額の理由が並びます。

売上を見る

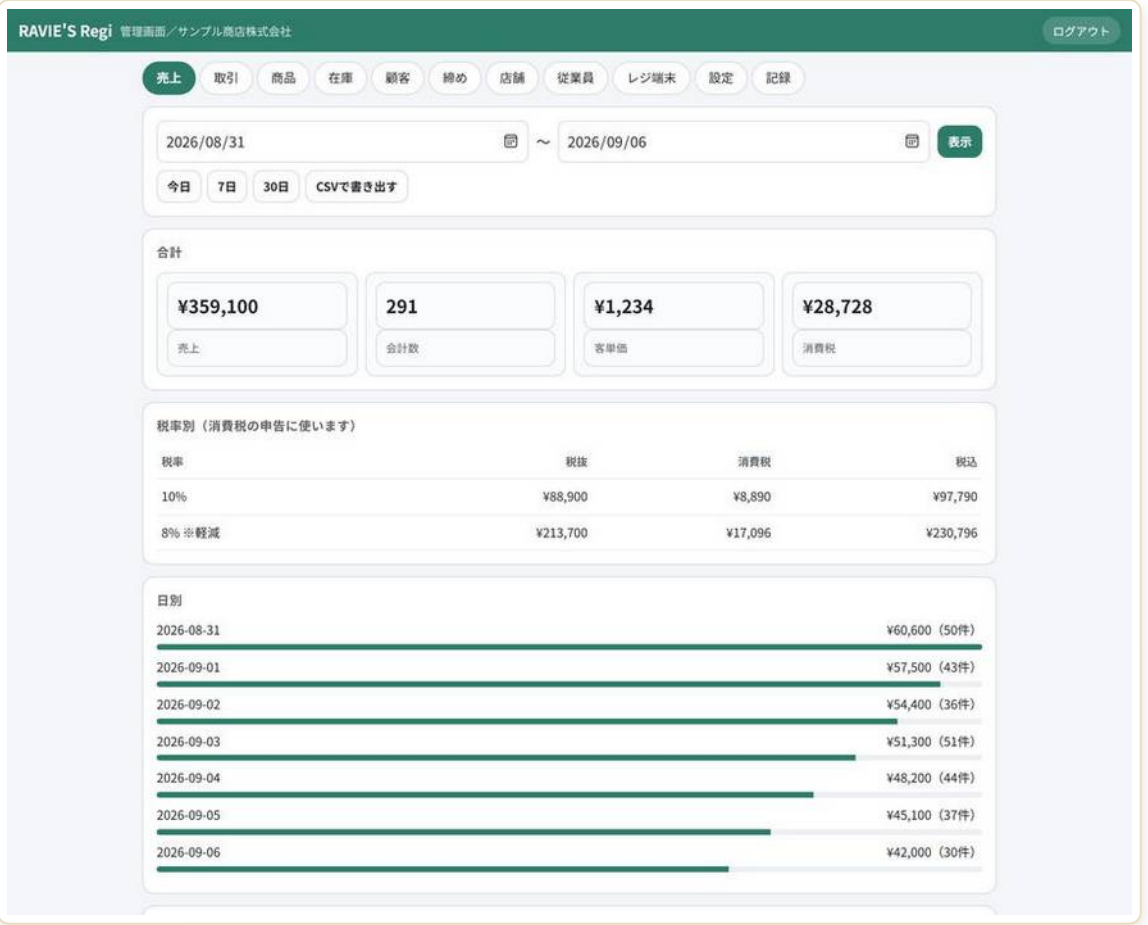
必要な切り口で、その場で見られます。

どこにある？「売上」タブ

1. **期間を選ぶ**
   「今日」「7 日」「30 日」のボタン、または日付を直接入れて「表示」。

2. **合計を見る**
   売上・会計数・客単価・消費税の 4 つが出ます。

3. **切り口ごとに見る**
   税率別・日別・支払方法別・売れている商品・部門別・時間帯別。



期間を選んで「表示」を押すと、その期間の集計が出ます。

売上を見る（つづき）

4 **必要なら書き出す**
「CSV で書き出す」で、表計算ソフトや会計ソフトへ渡せます。

i 税率別の集計は、そのまま消費税の申告に使えます。 時間帯別は、人の配置を決める材料になります。

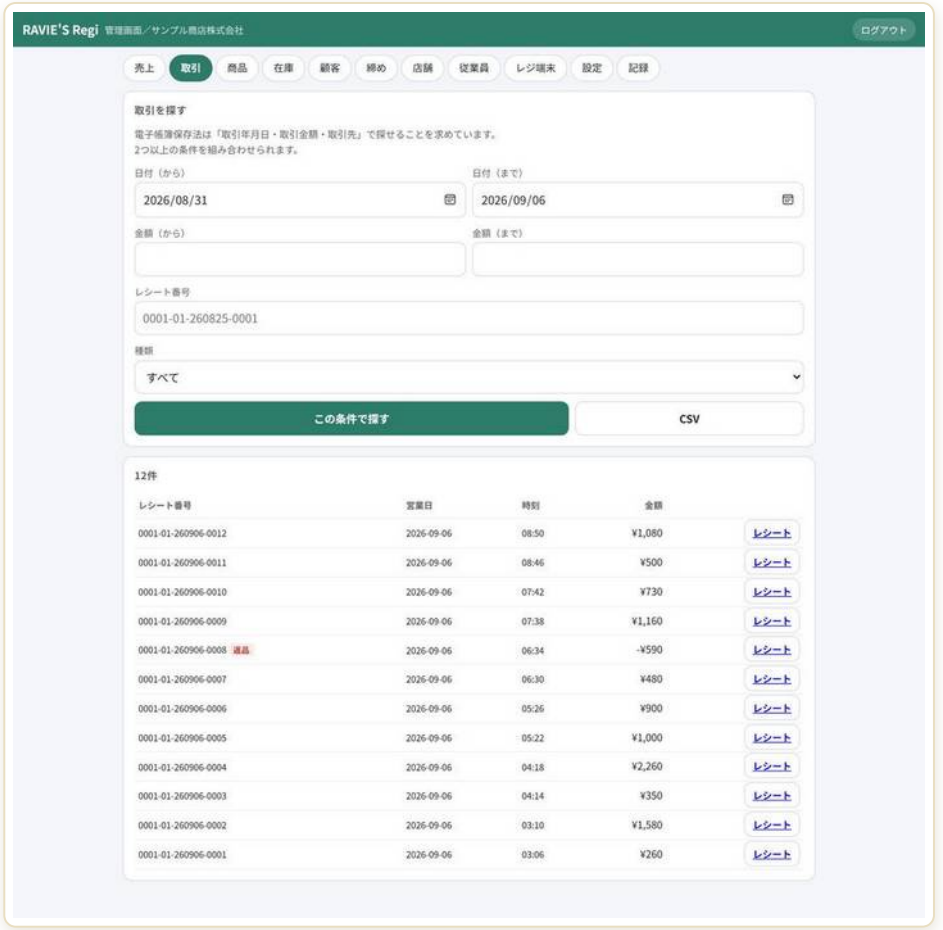


取引を 1 件ずつ探す

「あの会計はどれか」を、いくつもの条件で探せます。

どこにある？「取引」タブ

> この検索は、電子帳簿保存法が求める検索の要件（取引年月日・取引金額・取引先、およびその組み合わせ）を満たすために作っています。



日付・金額の範囲・レシート番号・取引先・区分で絞り込めます。

レジ締めの記録を確かめる

各レジが、いくら数えて、いくら差があったかを見ます。

どこにある？「締め」タブ

理論現金は、サーバーが全レジぶんから計算し直した数字です。 端末の画面に出ていた数字をそのまま信じているわけではありません。



理論現金・数えた現金・差額・差額の理由が並びます。

差額が続くときは、「記録」タブで値引や返品の操作を見てみてください。

第 4 章　商品と在庫

商品の登録から、棚卸・店舗間の移動まで。



商品の追加画面。バーコードを入れておくと、レジでバーコードリーダーが使えます。

商品を 1 件ずつ追加する

どこにある？ 「商品」タブ →「＋ 追加」

1. **商品名を入れる**
   レジのタイルとレシートに出ます。

2. **価格を入れる**
   「設定」で決めた入力方法（税込／税抜）で入れてください。

3. **税区分を選ぶ**
   ここがいちばん大事です。 下の表を見て選んでください。

4. **バーコード（JAN）を入れる**
   あれば入れます。無くても使えます。

5. **分類を選ぶ**
   部門とカテゴリ。売上の集計の切り口になります。



商品の追加画面。バーコードを入れておくと、レジでバーコードリーダーが使えます。

商品を 1 件ずつ追加する（つづき）

6 **在庫を管理するか決める**
管理すると、会計と同時に在庫が減ります。発注点を下回ると管理画面の先頭に出ます。

7 **「保存する」を押す**
レジ端末には、数分以内に自動で届きます。すぐ反映したいときは、レジ画面の「設定」→「商品を取り直す」。

税区分	どんな商品か	税率
標準 10%	お酒・日用品・雑貨など	10%
軽減 8%	持ち帰り前提の食品・飲料（お酒を除く）	8%
持帰 8%/ 店内 10%	イートインもある商品（コーヒーなど）	レジで区分を切り替えると変わります
非課税	商品券・切手など	0%



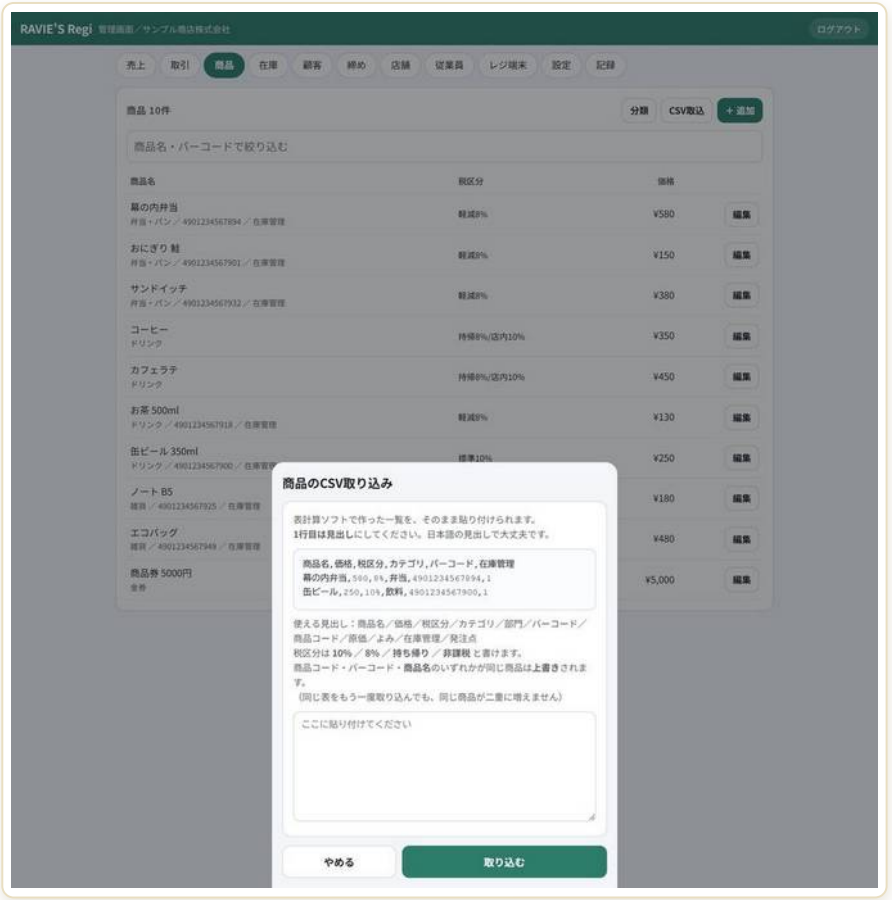
在庫の一覧。発注点を下回った商品は、画面の先頭に出ます。

商品をまとめて取り込む（CSV）

表計算ソフトの一覧を、そのまま貼り付けられます。

どこにある？ 「商品」タブ →「CSV 取込」

1. **表計算ソフトで一覧を作る**
   1 行目に見出しを入れます。「商品名」の列は必ず必要です。
2. **全部を選んでコピーし、貼り付ける**
   見出しは日本語でも英語でも受け付けます。
3. **「取り込む」を押す**
   結果が出ます。1 件おかしくても、その行だけを飛ばして残りは取り込みます。



取り込みの画面。1 行目が見出しです。

商品をまとめて取り込む（CSV）（つづき）

使える見出し	中身
商品名／名称／ name	必須
価格／単価／ price	数字。記号が混ざっていても大丈夫です
バーコード／ JAN ／ jan	数字以外は自動で外します
商品コード／コード／ code	自社の管理番号
カテゴリ／部門	無ければ自動で作られます
原価／ cost 、よみ／ kana 、在庫管理、発注点	任意

i 同じ商品コード・バーコード・商品名のものがあれば、新しく作らずに書き換えます。 何度取り込んでも二重になりません。

在庫を入れる・減らす（入荷・廃棄・調整）

どこにある？「在庫」タブ →「入荷」「廃棄」

1. **店舗を選ぶ**
   店舗が 2 つ以上あるときだけ出ます。
2. **「入荷」または「廃棄」を押す**
   商品と数を入れます。
3. **理由とメモを入れる**
   あとから「なぜ動いたか」を追えます。

> i 会計をすると、在庫は自動で減ります。返品では戻ります。ここでの操作は、それ以外の出入りのためのものです。



在庫の一覧。発注点を下回った商品は、画面の先頭に出ます。

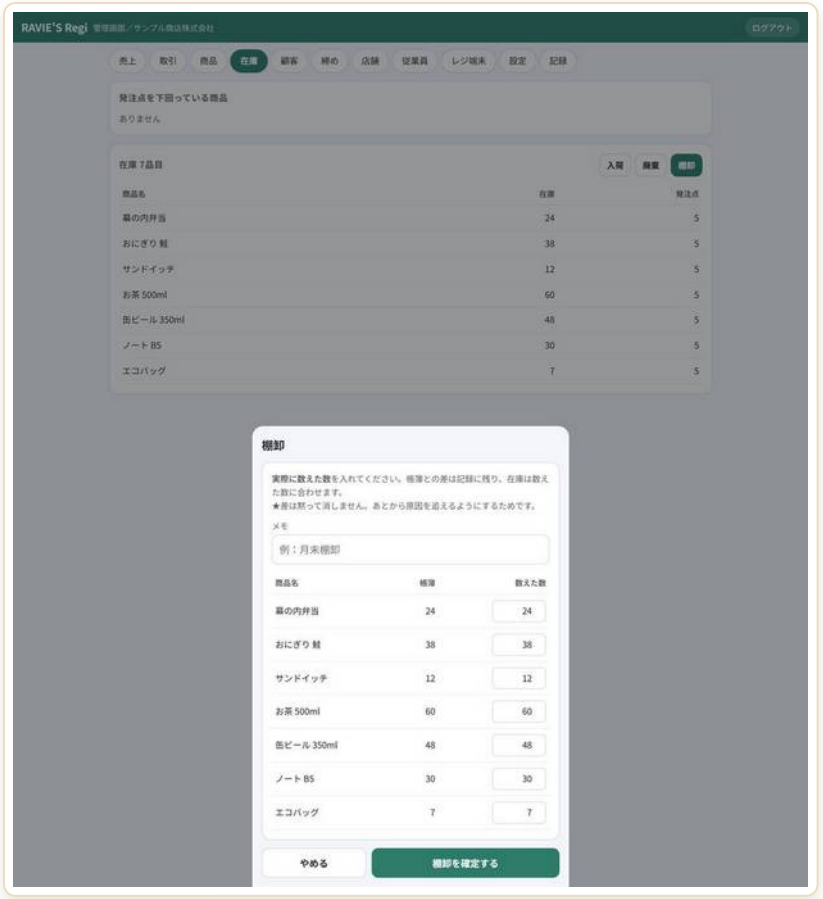
棚卸をする

数えた実数に合わせます。帳簿との差は記録に残します。

どこにある？「在庫」タブ →「棚卸」

1. **実際に数える**
   商品ごとの実数を用意します。
2. **数えた数を入れる**
   帳簿の数が隣に出ているので、見比べながら入れられます。
3. **「確定する」を押す**
   差のぶんだけ在庫が動き、差の記録が残ります。

> i 黙って数だけ書き換えることはしません。「いつ・誰が・どれだけ差があったか」が残るので、あとから原因を追えます。



棚卸の画面。数えた数を入れると、帳簿との差が出ます。

店舗の間で在庫を移す

どこにある？ 「在庫」タブ →「店舗間移動」

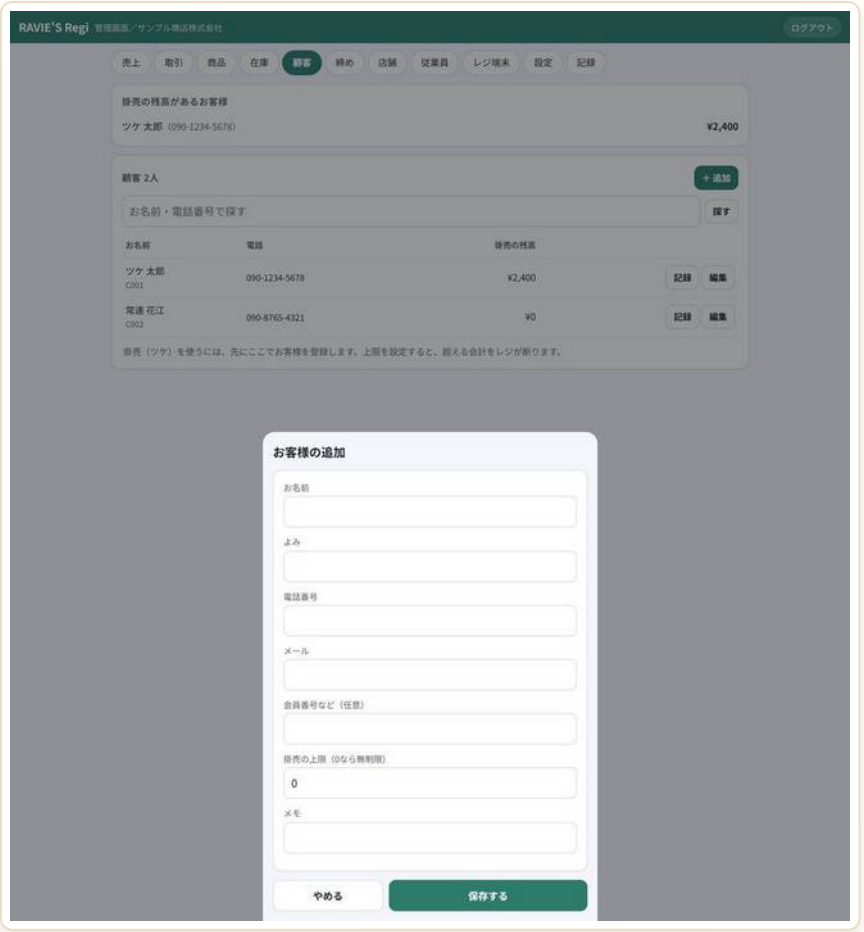
> 「出す」と「受ける」を 1 つの操作で行います。 片方だけ動いて数が合わなくなる、ということが起きません。



移動元・移動先・商品・数を指定します。

第 5 章　顧客と掛売（ツケ）

常連のお客様に、あとでまとめてお支払いいただく仕組みです。



お客様の登録画面。掛売の上限をここで決めます。

お客様を登録する

どこにある？ 「顧客」タブ →「＋ 追加」

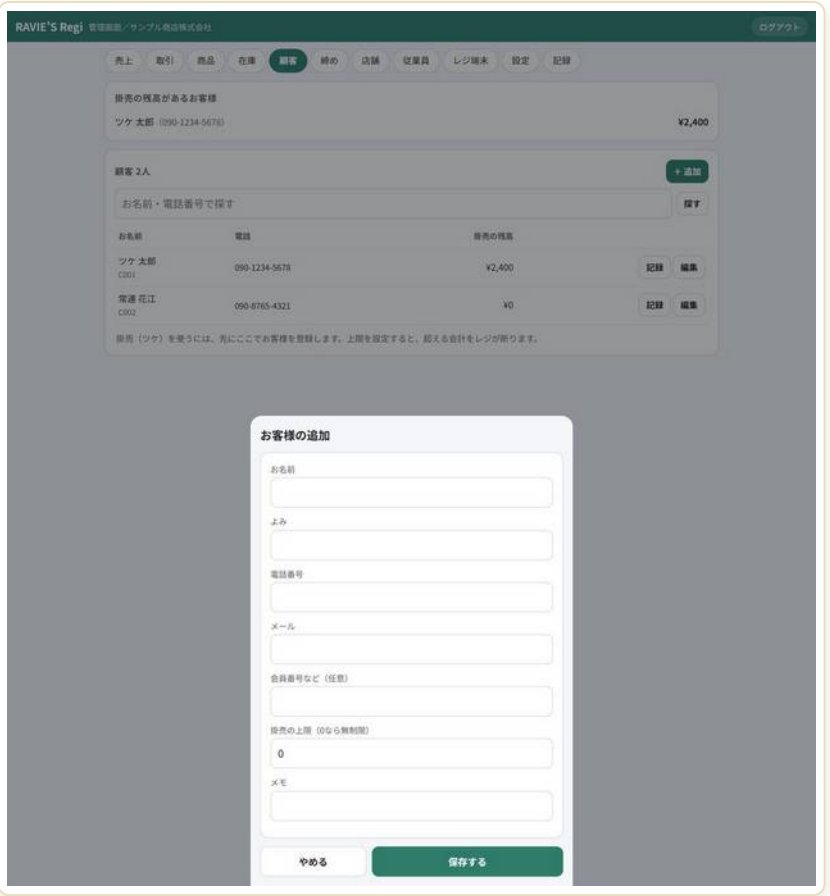
1. **お名前とよみを入れる**
   レジでお客様を探すときに使います。

2. **電話番号を入れる**
   同姓の方を見分けるのに役立ちます。

3. **掛売の上限を決める**
   この金額を超えるツケは、レジが受け付けなくなります。 0 のときは上限なしです。

4. **「保存する」を押す**
   レジ画面から探せるようになります。

! お客様の個人情報をお預かりすることになります。必要な項目だけを入れてください。



お客様の登録画面。掛売の上限をここで決めます。

ツケの残高と、入金を記録する

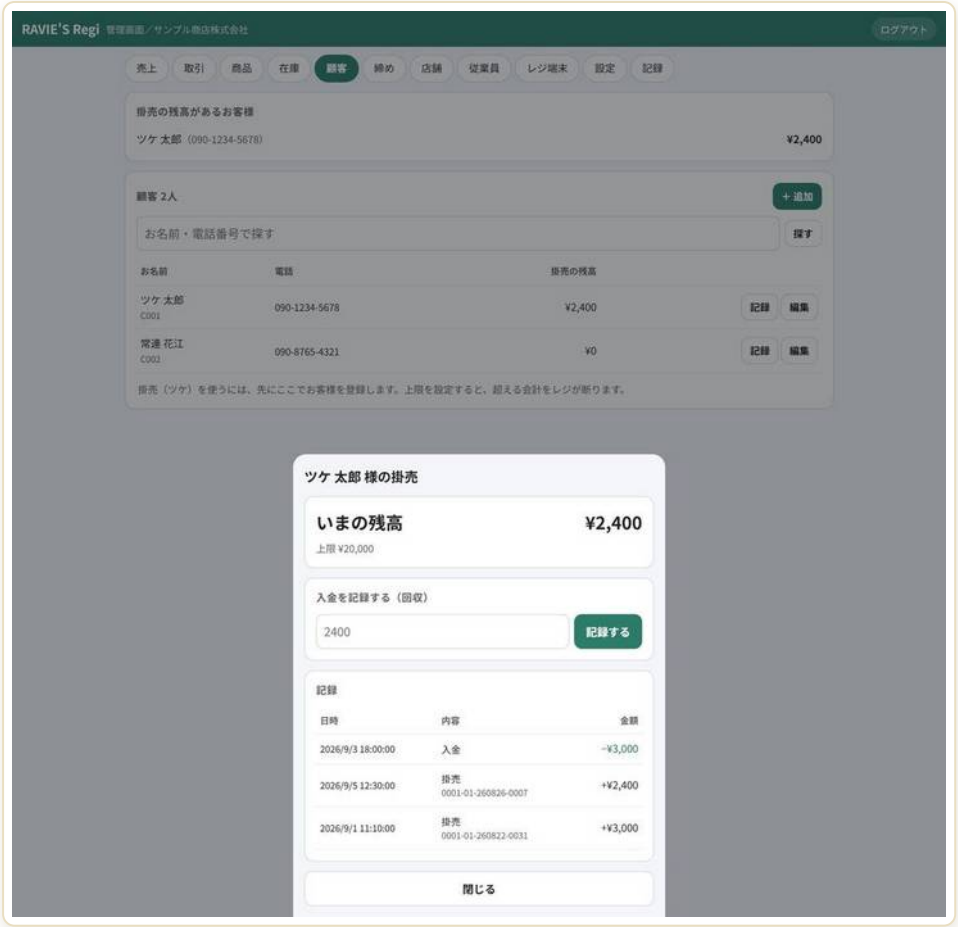
どこにある？ 「顧客」タブ → お客様の行の「記録」

1. **お客様を選ぶ**
   残高のある方は「顧客」タブの一覧で確かめられます。

2. **記録を確かめる**
   いつ・いくらツケになったかが並びます。

3. **入金を記録する**
   回収した金額を入れます。残高より多い金額は受け付けません（入力間違いを防ぐため）。

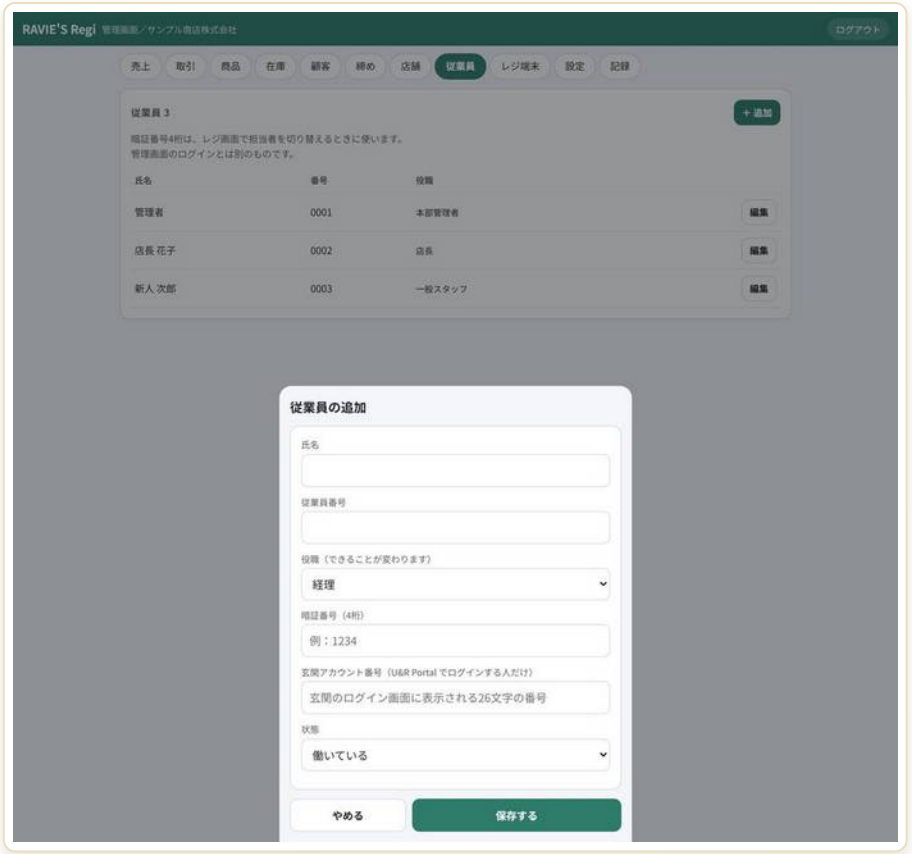
i 掛売の返品では、ツケが戻ります。残高がマイナスになったときは、お店からお返しする分があるという意味です。



1 人ぶんの掛売の記録。掛売・入金・返品が時系列で並びます。

第 6 章　従業員と権限

誰に何をさせるかを決めます。

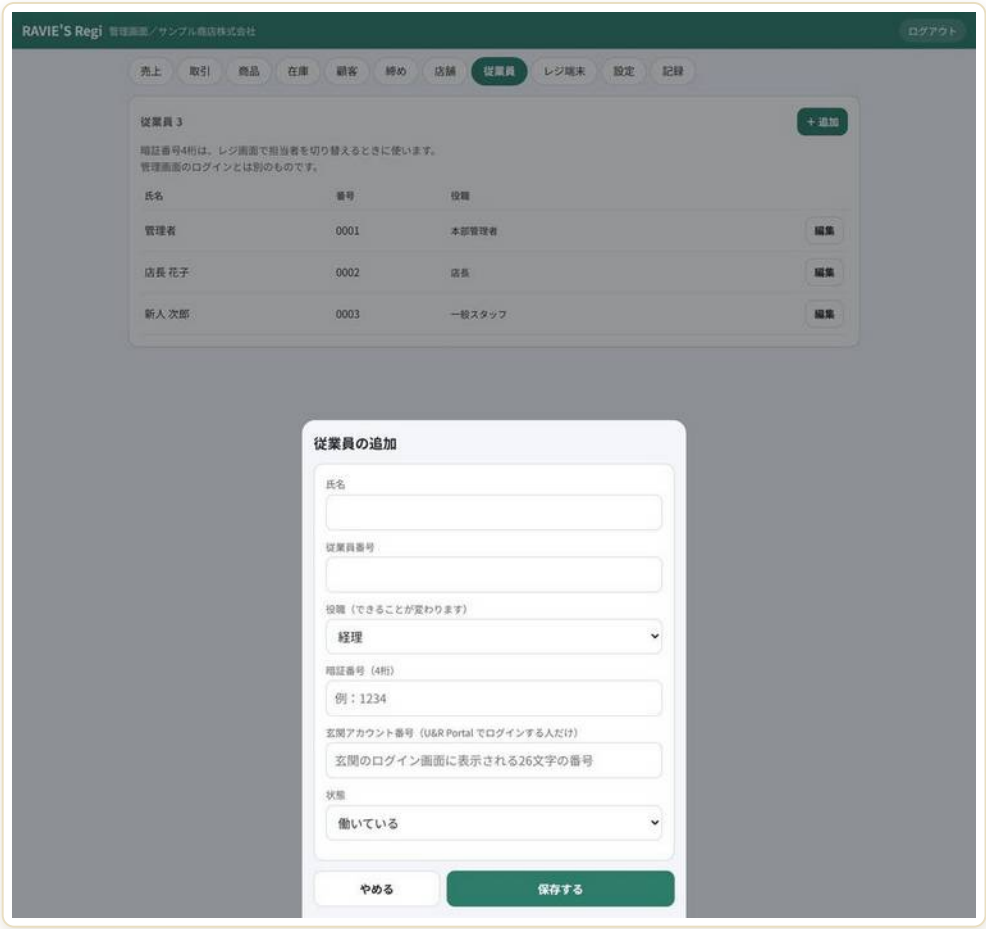


従業員の追加画面。暗証番号は 4 桁の数字です。

従業員を追加する

どこにある？ 「従業員」タブ → 「＋ 追加」

1. **氏名と従業員番号を入れる**
   レジ画面の担当者の一覧に出ます。
2. **役職を選ぶ**
   役職で、できることが決まります。 次の節の表を見てください。
3. **暗証番号（4 桁）を決める**
   レジで担当者を切り替えるときと、値引・返品の承認に使います。
4. **働く店舗を選ぶ**
   店舗が 2 つ以上あるときに使います。



従業員の追加画面。暗証番号は 4 桁の数字です。

従業員を追加する（つづき）

5 **玄関アカウント番号を入れる（任意）**
U&R Portal の ID で管理画面に入れるようにする番号です。当社からお伝えします。

! 暗証番号を人と共有しないでください。 誰が値引・返品を承認したかが記録に残らなくなります。



役職でできることが変わる

はじめから 4 つの役職が入っています。

役職	できること
本部管理者	すべて
店長	会計・返品・値引・商品・在庫・売上・締め・顧客
一般スタッフ	会計だけ（値引と返品には店長の承認が要ります）
経理	売上を見ることだけ（商品も従業員も設定も変えられません）

> この区切りは、万一アカウントが乗っ取られたときに被害を止めるためでもあります。経理のアカウントが盗まれても、商品や従業員はいじれません。



「従業員」タブ。役職ごとの権限が確かめられます。

辞めた人を停止する

消すのではなく「停止」にします。過去の記録を残すためです。

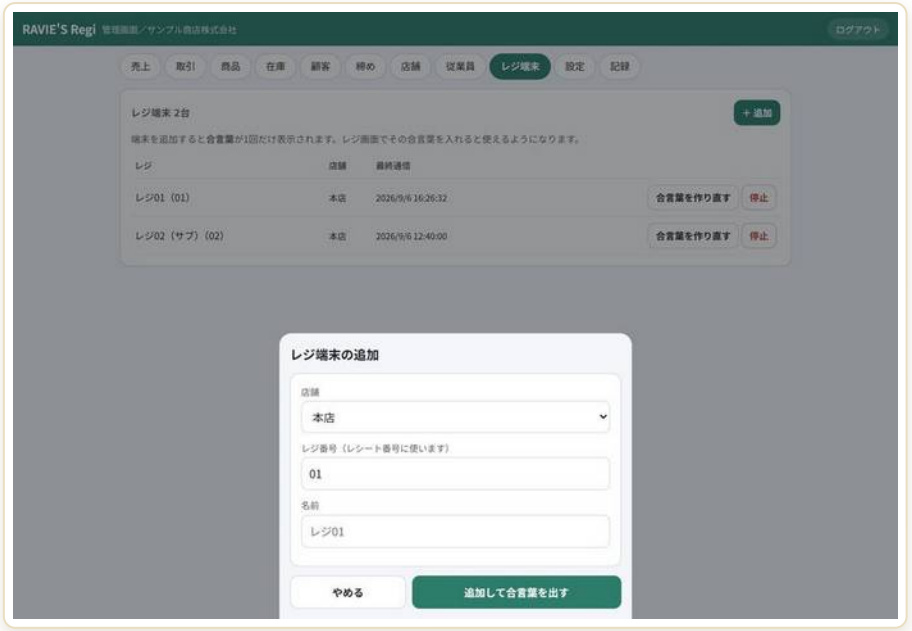
1. 「従業員」タブでその人を開く
2. 状態を「停止」にして保存する
   レジの担当者の一覧から消え、管理画面にも入れなくなります。

i 開きっぱなしの画面からも、次の操作で締め出されます。 停止したあとに操作されることはありません。



第７章　レジ端末の管理

レジにする端末を増やす・止める・作り直す。



レジ端末の追加画面。レジ番号はレシート番号に使われます。

レジ端末を追加する

どこにある？ 「レジ端末」タブ → 「＋ 追加」

1. **店舗とレジ番号を入れる**
   レジ番号は「 01 」「 02 」のような短い数字です。
2. **「追加して合言葉を出す」を押す**
   合言葉が表示されます。
3. **合言葉をその場で控える**
   この画面を閉じると二度と表示できません。
4. **レジにする端末で、その合言葉を入れる**
   端末側の手順は「店員向け 説明書」の第 1 章にあります。





レジ端末の追加画面。レジ番号はレシート番号に使われます。

! 1 台につき 1 つの合言葉です。 同じ合言葉を 2 台に入れると、システムが気づいて片方を止め、記録に残します。

端末をなくしたとき

その端末を、すぐ使えなくできます。

どこにある？「レジ端末」タブ →「合言葉を作り直す」

1. **その端末の行で「合言葉を作り直す」を押す**
   前の合言葉は、その瞬間から使えなくなります。

2. **新しい合言葉を控える**
   端末が戻ってきたときは、この合言葉で登録し直します。

i 使わない端末は「停止」にもできます。
停止した端末は、サーバーに一切つながらなくなります。



各端末の最終通信の時刻も見られます。

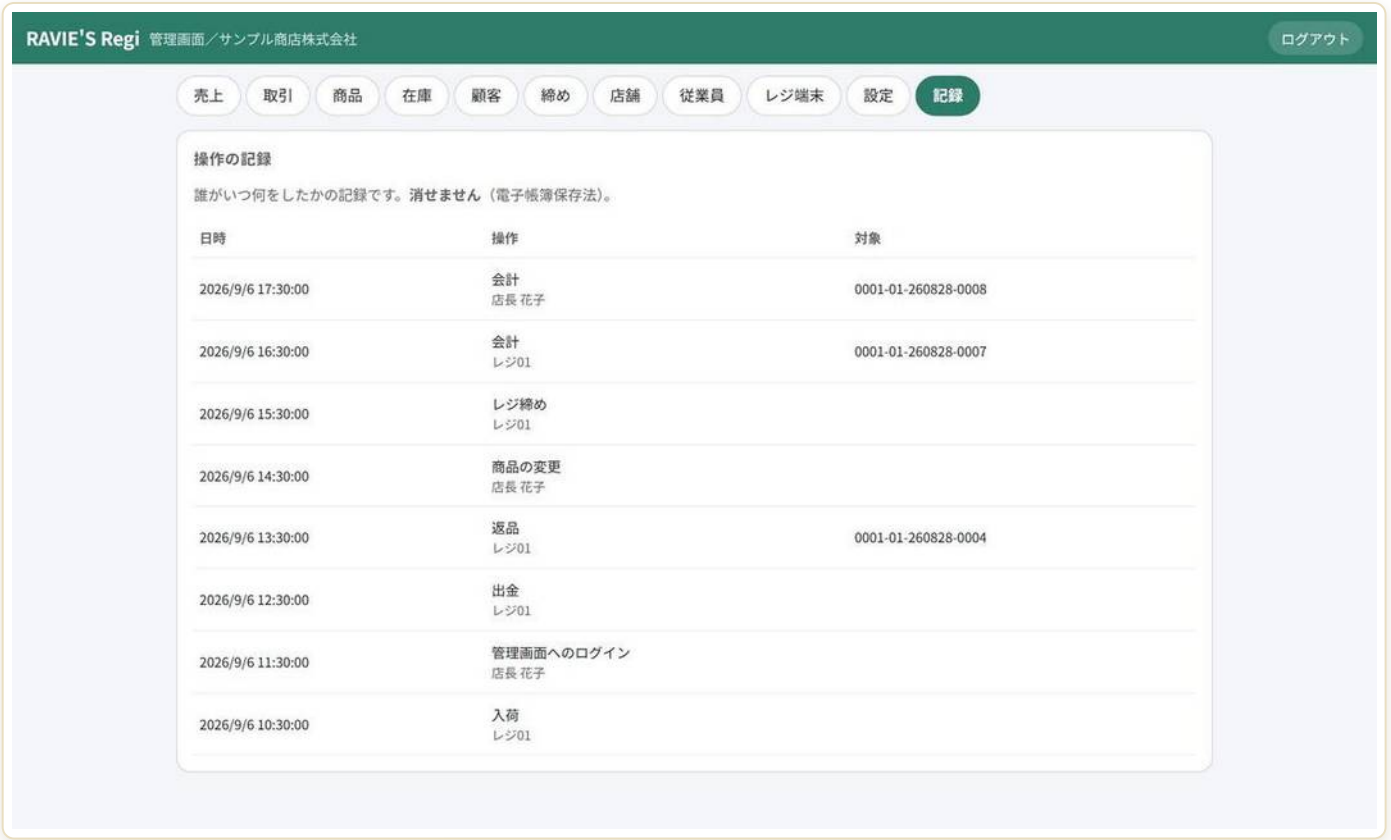
第 8 章　記録と、データの守り方

何が残るか、何を守っているかを知っておいてください。

操作の記録を見る

どこにある？「記録」タブ

ログイン（失敗も）、会計、返品、値引の承認、設定の変更、暗証番号の間違いが残ります。この記録は消せません。

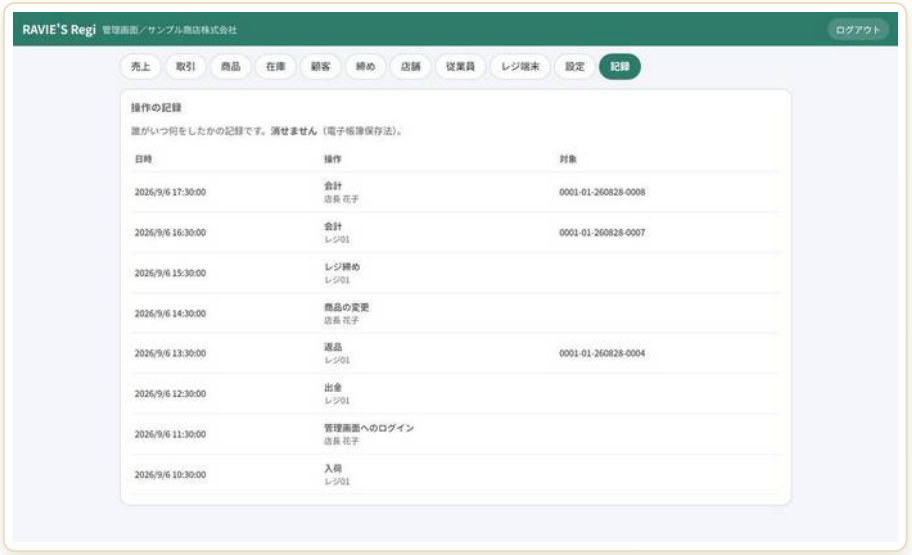


誰が・いつ・どこから・何をしたかが残ります。

お預かりするデータの守り方

商談で聞かれることの多い内容です。

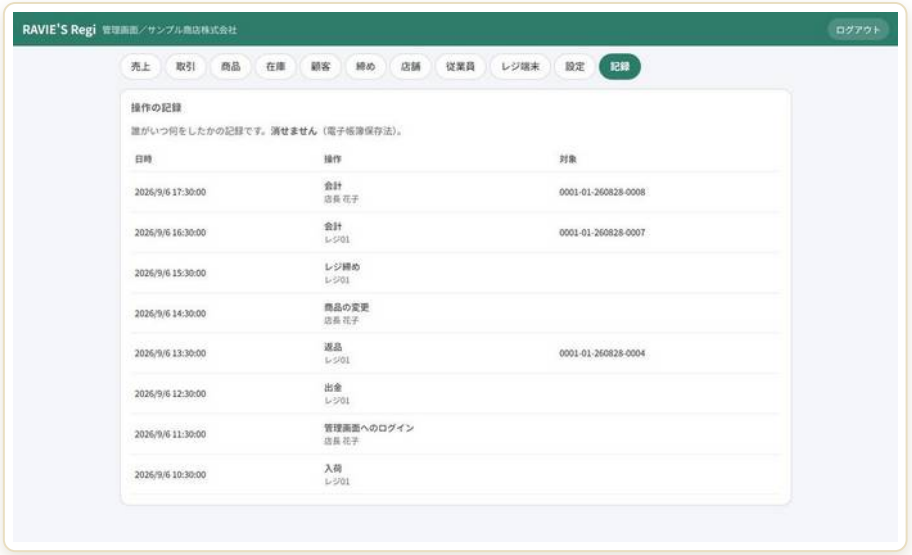
守っていること	中身
盗まれても読めない形で保存	パスワード・端末の合言葉・暗証番号は、もとに戻せない形に変えて保存します
カード番号は保存しない	そもそも保存する欄がありません
会社ごとに完全に分離	すべてのデータに会社の札が付き、他社のデータは 1 件も見えません
機械的な侵入を締め出す	パスワードや暗証番号を片っ端から試す攻撃は、◯回の上限で自動的に止まります
取引は消さない・書き換えない	訂正は「取消の伝票を積む」形で行います（電子帳簿保存法のため）



誰が・いつ・どこから・何をしたかが残ります。

お預かりするデータの守り方（つづき）

くわしくは、ご案内資料の「お預かりするデータの守り方」をご覧ください。



誰が・いつ・どこから・何をしたかが残ります。

売上データを手元に取り出す

会計ソフトへ渡すときや、控えを持っておきたいときに。

どこにある？ 「売上」タブ →「 CSV で書き出す」

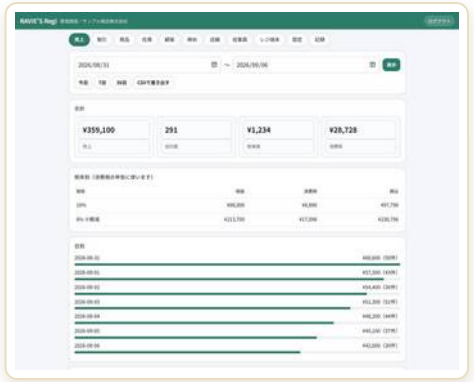
選んでいる期間の取引を、表計算ソフトで開ける形で書き出します。 1 回に書き出せるのは 62 日ぶんまでです。長い期間は分けてください。



もっとまとめて取り出したいときは、当社にご相談ください。

この資料に載っている画面

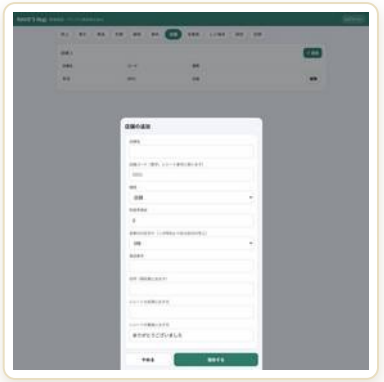
画面の一覧（1／3）



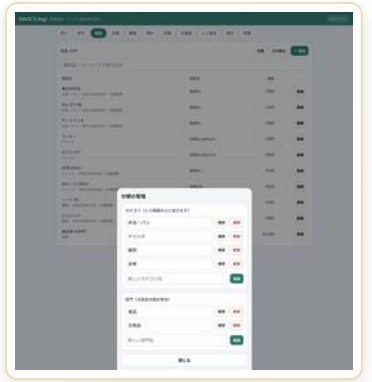
画面の見かた（p.15）



① インボイスと消費税を決める（p.17）



② 店舗を確かめる（p.19）



③ 部門とカテゴリを作る（p.20）



取引を1件ずつ探す（p.25）



レジ締めの記録を確かめる（p.26）



商品を1件ずつ追加する（p.28）



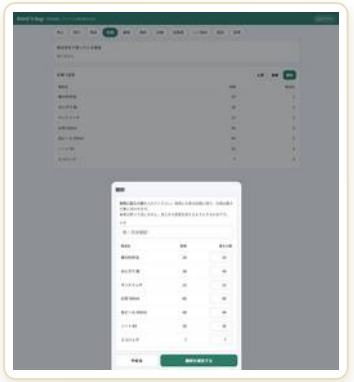
商品をまとめて取り込む（CSV）（p.30）

この資料に載っている画面

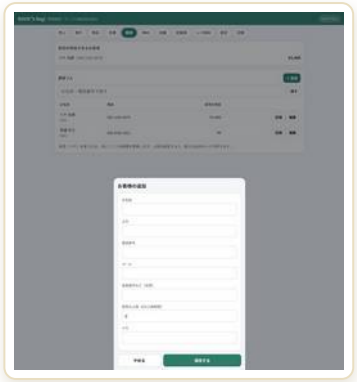
画面の一覧（２／３）



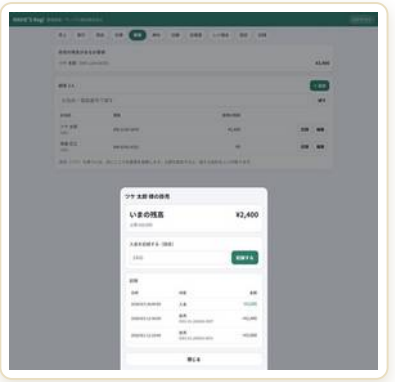
在庫を入れる・減らす（入荷・廃棄・調整）
（ p.32 ）



棚卸をする（ p.33 ）



お客様を登録する（ p.36 ）



ツケの残高と、入金を記録する（ p.37 ）



従業員を追加する（ p.39 ）



役職でできることが変わる（ p.41 ）



レジ端末を追加する（ p.44 ）



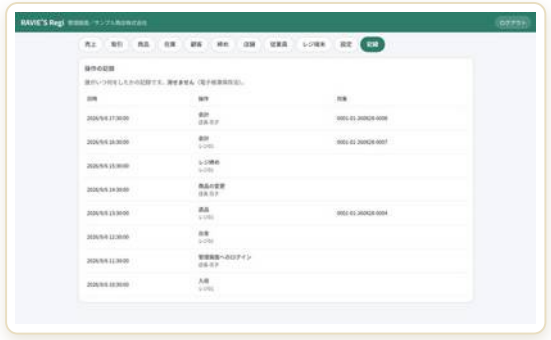
レジ端末を追加する（ p.44 ）

この資料に載っている画面

画面の一覧（3／3）



端末をなくしたとき（p.45）



第 8 章　記録と、データの守り方（p.46）

お問い合わせ・ご意見

使いにくいところ、分かりにくい言葉、ほしい機能など、どんな小さなことでもお知らせください。

お問い合わせフォーム： https://uandr-group.com/ur-group/inquiry/

メール： info@uandr-group.com



この資料について

作成日： 2026 年 10 月 16 日（ v1.1 ・事業者用）
もとにした資料：操作説明書（事業者用）
画面写真は、説明のために見本のデータを入れて撮影したものです。利用シーンの写真は AI で作ったイメージです。
システムの改修や新しいシステムの公開に合わせて、内容を更新します。

U&R GROUP ソフトウェア開発・運用事業部 RAVIES